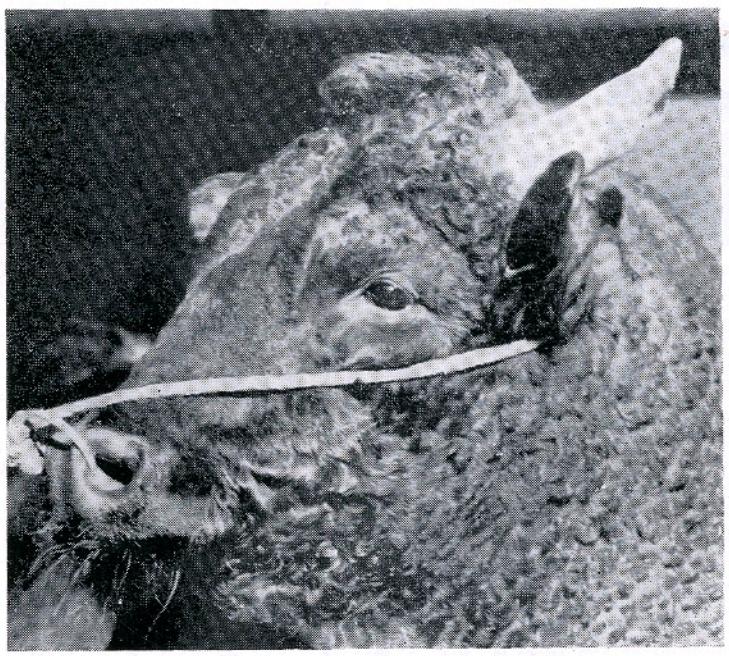
広報
さめがわ
1973
1月号
No.230
編集兼発行
鮫川村総務課
塙町 佐藤印刷所



今年は『丑の年』
明けましておめでとうございます

12支でいう丑の年。歩みは遅いが着実に前進することをモットーにしています。

鮫川村は、特に畜産の振興を図つてわれわれの仲間を大分増やしていただいているようで、いつも感謝しています。12年ぶりに廻つてきた私たちの年ですから大いに村のため役立ちたいと一同ハリキツテいます。

どうぞよろしく……

元朝の展望

地の涯に青く起き伏す山なみのほのかに明く春きたるらし
あぶくまのいただきまでも牧場して群れ喰む牛はうからなるべし

曙峯

- ⊙ 1日　元旦・交通事故ゼロ、歩行者優先の日
- ⊙ 4日　官公庁御用始
- ⊙ 6日　消防出初式
- ⊙ 15日　成人の日（成人式）
- ⊙ 第3日曜日は『家庭の日』です

今月の人口
（12月26日現在）

人口	6,333	(－8)
男	3,185	(－1)
女	3,148	(－7)
世帯	1,197	(0)

成人と国民年金

成人おめでとう!!

一月一五日は成人の日です。この日は「おとなになつたことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年のみなさんを祝う日」として今年も一月一五日に成人式が催されます。二〇才になると成人としての権利が与えられ、義務が課せられます。この義務の一つに国民年金への加入があります。ただし次の方々については希望で加入することができます。

一、会社や官庁に勤めて、厚生年金、船員保険、共済組合等の公的年金制度に加入している人の配偶者。

二、公的年金（恩給）制度から年金を受けることのできる人の配偶者。

◎　加入の仕方は本人か家族の方が役場に印かん持参の上申し出て下さい。

◎　国民年金保険料と納期限!!

保険料は年額六、三〇〇円です納期限は一期（四月～六月）四月二五日、第二期（七月～九月）七月二五日、第三期（一〇月～一二月）一〇月二五日、第四期（一月～三月）一月二五日までと四期に分けて納めるようになつています。

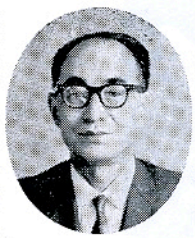
◎老後の幸福は若いうちに基礎を築きましょう。

◉福祉年金の支給月

一月六日は老令福祉年金などの支給日です。忘れずに郵便局の窓口で受取つて下さい。

おはなしの広み (21)

高福祉時代の幕明けに



村長　石田卯子八

昭和四八年の新春を迎え、今年もまた皆様の上に幸と栄光の限りなく訪れますことを祈ります。

去る昭和四七年末には衆議院の解散に伴う総選挙が行われましたが、国民の関心もかつてない程の高まりを見せ、ここに新しい政治勢力の分野が決定されました。

選挙を通じて各党が掲げた政綱政策、候補者が訴えた公約には国民福祉の向上に関するものが多く、高福祉社会の建設、高福祉時代の到来を期待させるものが多かつたことは周知のとおりであります。

円がダブつくといわれるこの時期にこそ、是非社会資本の画期的な充実を図り、高福祉時代の幕明けとする努力をしなければならないと思います。

わが村が、村の規模で行い得る当年度の福祉を高める事業としては、敬老年金の創設、七五歳以上の老人医療費の無料化、老人保養センターの誘致、児童手当の支給乳幼児医療費無料化、育児手当、へき地家庭常備薬の配布など国保給付の改善、診療所及び医師住宅の新築、保育所、母子健康センターの充実、簡易水道の設置などありますが、関係皆様のご協力を得て順調に実施され、進行していることを感謝しております。

今年は、一月一日から七〇歳以上の老人の医療費が、国の制度によつて、国県村の負担で無料化されます。

各種年金の増額も必至の情勢にあり、これまで経済成長にのみ指向されていた政治の流れがかわりつつあることが感じられます。

わが村の文教施設で念願の統合中学校が、昨年建設計画の全部を完了し、壇の岡上に堂々たる中等教育の拠点が築かれました。

続いて渡瀬小学校の水泳プール西野小学校の屋内運動場、スクールバス、教員住宅の建設が進み、社会体育のための村民運動場も整地作業を終つたので、教育施設の整備は一応順調な進捗といえましよう。

生活圏整備のための生活道路についても大きく投資が行われ殊に国道二八九号線は全線の改良舗装が決して遠いものではなくなりました。

白河広域圏事業の常備消防も活動体制に入り、西野区に建設された生活改善センターは、豊かな環境づくりの上に大きな役割を果すことになると思います

産業経済近代化の分野では、こんにやくやたばこの生産加工施設が新しい規模で設置され、ほ場整備、農、林道の開設、公害のない工業の導入も着々進んできました。

このように高福祉社会を支える産業の近代化、生活環境の整備、そのための社会資本の充実に努めながら、調和のとれた明るく豊かな村づくりに、皆様とともに精進することを年頭の決意にしたいと思います。

おめでた

十二月

石井　中川西　誠父　勝
名下　薄葉　博行　〃　正一
塩倉　矢吹　和子　〃　栄蔵
酒垂　須藤　俊雄　〃　貴浩

おくやみ

十二月

西	高坂	一郎	41才	世帯主
石ノ花	矢吹	カネ	70才	幾三郎
関口耕地	藤田	実	73才	春雄
戸草	関根	ヤス	83才	高市
青生野	吉成	義雄	45才	ウラ
中沢	矢吹	イ子	82才	一郎

◇　◇　◇



農業基本調査

二月一日現在で行ないます。それぞれ担当の調査員が伺いますので、ご協力下さい。

村税完納に感謝

――年内に全村完納達成――

納税については、村民皆様の深いご理解とご協力を頂き、毎年全村完納の実績をあげておりますことを深く感謝いたします。

昭和四十七年度も皆様のご協力で前年度に引続き、一二月二五日に「全村完納」の輝かしい実績をおさめました。

「継続一六年全村完納」の金字塔をうちたてていただきましたことについて厚くお礼を申し上げます。

才末たすけあい運動終る

村内居住の個人、法人の皆さんから寄せられた、才末たすけあい募金は、年の瀬を迎えめぐまれない施設に入所されている人々、また長い間病院生活を送られている人々のもとに、皆さんの善意とともに届けられました。

募金結果と配分は次のとおりです。

○募金総額　一二二、六九四円

内訳

前年繰越　二四、一〇四円

募金　個人　五二、〇二五円

法人　四六、五六五円

○募金の配分は次のとおり

精薄児施設　六名

肢体不自由児施設　一名

養護施設　二名

里親委託児　二名

精薄者援護施設　二名

母子寮　二名

老人福祉施設　二名

保護長期入院者　一九名

一般長期入院者　六名

結核予防法に基く入所者一名

村選定要保護世帯　一八名

配分対象者総数　六一名

○配分金額一人当り一、五〇〇円

合計九一、五〇〇円

○緊急配分積立金二八、〇七四円

○事務費　三、一二〇円

年頭の挨拶
農工一体の実をあげよう



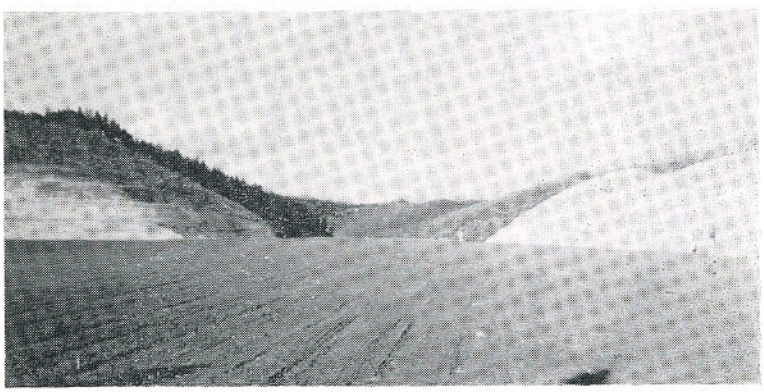
議長　大楽勝男

昭和四十八年の年頭にあたり鮫川村議会を代表いたしまして謹んで新年のご挨拶を申し上げます。村民のみなさん新年おめでとうございます。希望に満ちた新春を迎えるにあたり、みなさまのご清福とご繁栄を心からお祈り申し上げます。就任以来その重責を痛感し微力ではございますが誠心誠意懸命の努力を傾注してまいったつもりであります。おかげをもちまして大過なく越年することが出来ましたこれひとえに村民各位のご支援とご協力の賜であり心から感謝の意を表する次第でございます

激動を続ける社会情勢の下本村一般行政は着実な伸展を示してまいりましたことは当局の適確なる企画と相まつて村民みなさまの惜しまざる理解あるご協力の表れでありまして感激に絶えません。しかしながら本村の現状は高度な経済成長とは全くうらはらな現象をきたしておりますことはご案内のとおりでありまして、まづ村民生活の安定福祉の増進を図るには今後幾多の重要問題が山積しております。

教育の行政特に土木行政の推進を図り懸案の農工一体の実をあげるため通勤可能化し、工業の導入を行ない、明るい平和な家庭をとりもどす。これ等の解決を図ることが今期われわれに課された使命であり一九七〇年代を誇りうるような輝かしい時代をつくる努力をしなければなりません。

われわれ議会といたしましては今年もまた終始公正を期し六千村民の信託にこたえ凡ての施策が最大の効果があがるよう努力する覚悟を新たにしております。昭和四十八年こそは本村のよりいつそう躍進の年として村政全般にわたり飛躍的発展をとげられますよう、みなさんのいつそうのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



春を待つ……村民運動場

自動車やバイクを乗り入れないで!!

12月に完成した村民運動場は、今春早々グラウンド開きを行ない、一般に開放されますが、まだ地面が安定していませんので、グラウンド内に自動車など乗り入れないよう、また法面をくずさないようご協力をお願いします。



住民の願望実る

生活改善センター 新築落成

地域の発展は先ず生活環境の改善からと、以前から西野区の方々が要望されていた生活改善センターが落成しました。村の四七年度事業で西野公民館跡地に総工事費八五〇万円、延面積二〇三、三平方米の近代的な生活改善モデルセンターが出来上り、去る一二月二七日に盛大に落成式を行いました。



※昭和48年新入学児童※

今年の四月、小学校に入学するお子さんは昭和四一年四月二日から昭和四二年四月一日までに生まれたお子さんたちです。

四七年一二月一日現在調べでは九二名で昨年より八名少なくなっています。

入学予定のお子さんは次のとおりですが、名前がちがつていたりもれていましたら一月末日まで教育委員会に申し出て下さい（電話四二番）

◉青生野小学校
児童名（保護者名）
棚井安友（朝己）、吉成昌人（義郎）、岡部謙一（喜一郎）、本多光生（清一）、土手内誠（利雄）瀬谷紀里子（政義）、平久江早利（勝雄）、生田目操（忠之助）、生田目富美子（勝利）、中島文子（文雄）。男七名、女三名計一〇名

◉渡瀬小学校
遠藤早百合（幹雄）、芳賀輝哉（昇一郎）、蛭田誠司（栄次）、蛭田千秋（西郎）、鈴木マサ子（好一）、蛭田仁子（昌一）、下重正春（正）、蛭田浩幸（政光）、蛭田敏（一）、芳賀美佐子（恒夫）芳賀みどり（忠雄）、河野美江子（弘）、藤田美智夫（ミツ子）、小松滝江（幸一）、下重佐美（正佳）、下重浩（金治）、根本隆（勝）、小野瀬成一（誠）。
（男一〇名、女八名、計一八名）

◉富田小学校
岸波人見（竹雄）、生田目正美（定之助）、鷺野谷英夫（敏男）、小川文伸（久之）。
（男三名、女一名、計四名）

◎西野小学校
斉藤靖夫（良弥）、須藤百合子（啓）、西野勇二（長治）、藤田勝美（清）、北条和子（正敏）、阿久津博（秀勝）、高坂英良（博）増谷春男（猛）、北条正則（辰之）、藤田忠紀（一夫）。
（男八名、女二名、計一〇名）

◉西山小学校
生田目敦弘（利夫）、根本節子（宏）、関根孝弘（功男）、根本正則（伝）、松崎義安（義一）、本郷仁（栄治）、関根文雄（清）、関根一昭（昭八）、箭内良仲（邦安）、大竹美智子（清一）。
（男八名、女二名、計一〇名）

◉鮫川小学校
高木剛（市郎）、五十嵐富美代（大一）、国島恭子（武士）、鈴木和彦（和光）、白井実良（三代吉）、白坂成子（真平）、円井高（栄一）、水野恵美子（美好）、鈴木新吾（一）、渡辺敬（邦夫）、佐藤清（幸一）、酒井光代（国光）、円井敦志（満正）、円井ひろ子（幸男）、宗田先子（秀郎）金沢ひとみ（正男）、金沢洋子（守）、矢吹好弘（豊）、金沢洋子（守）、矢吹好弘（堅寿）、鈴木幸男（輝司）、窪木義隆（征子）、松本さつき（啓助）、古舘勝人（誠二）、蛭田勝利（一郎）、鈴木文枝（作衛）、矢吹弘恵（幸一）、田子幹子（一夫）、羽田隆則（義美）、宗田和子（豊）、前田婦美（武久）、高坂栄子（卯平）、中川西賢一（一郎）、長久保みどり（利生）、野崎雅子（勇次）、青戸秀樹（文雄）。（男一七名、女一八名、計三五名）

◉戸草分校
諸橋覚（覚知）、芳賀晴美（貢）
（男一名、女一名、計二名）

◉東野分校
芳賀美恵子（光美）、生田目博和（一義）、水野弘文（国勝）。
（男二名、女一名、計三名）

退職金共済制度に加入しましょう

退職金共済制度は、法律によつて国の援助と共済法式の採用によつて中小企業でも有利な退職金が確実に支給されるようになりました。

この制度の特色は、掛金は全額免税され、国の補助があり又融資がうけられます。

毎月の掛金は一人四〇〇円から四、〇〇〇円までとなつており、例えば掛金一、〇〇〇円を三六〇ケ月掛けて退職したときは、一、一八七、五三〇円の退職金が支給されます。

申込の窓口は地元の金融機関になつていますが、くわしいことは白河商工労政事務所におたずね下さい。

—公給領収証—

年の始めは特に宴会などが多くなる時期です、次のような場合には必ず公給領収証を受けとつて下さい。

▼料理店、バー、キャバレーで飲食をしたとき。

▼飲食店（食堂、すし屋、大衆酒場等）で飲食した場合、一人一回の料金が九百円を超えたとき。

▼仕出し店（魚店等）から仕出しを受けた場合、一回一人前の料金が九百円を超えたとき。

▼旅館に泊つた場合、一人一泊の料金が千八百円を超えたとき（この場合基礎控除として千円差引）、泊らないときは飲食休憩料金一回一人分九百円を超えたとき。

以上の場合は、料理飲食等消費税として、一〇パーセントの税金がかかつていますので必ず公給領収証を受けとつて下さい。